

課題の抽出 ～めざす姿の想定～



指導への効果

①児童像の共有

- ・学びに関する「強み」と「弱み」の把握
- ・なぜ困難なのか、背景要因の仮説立て

②指導の方向性の共通理解

- ・課題・実感を可視化したことによる共通理解
- ・かかわる教師集団の意識の変化
- ・指導仮説に基づく、日々の指導の見直しの視点

※29 実践研究委員会 課題関連部チームまとめ会議より

全員が研修し、個別の指導計画の様式に含む。本校の授業づくりに位置付け。

確かな学びを育む教材・教具の作成

Q 教材・教具づくりが必要なのは分かっているが、どうやって考えると良いのか？

A

- ・根拠となる、発達段階を学ぶ研修
- ・考え方の流れが分かる研修
- ・チームで作る授業づくりの楽しさの経験

見てもらえる指導案

Q 毎時間、指導略案を作成しているが、伝わっていない気がし、不安である。

A

- ・必要な項目の確認と様式の工夫
- ・小中学部の指導略案や、他校の様式も参考にし、サンプルを作成し、授業を行い、意見を集め改善する